

令和 6 年度本庄商工会議所 満足度・事業所現況調査結果

2024年9月4日

※構成比は小数点以下の値の計算上、合計しても必ずしも100とならない場合があります。

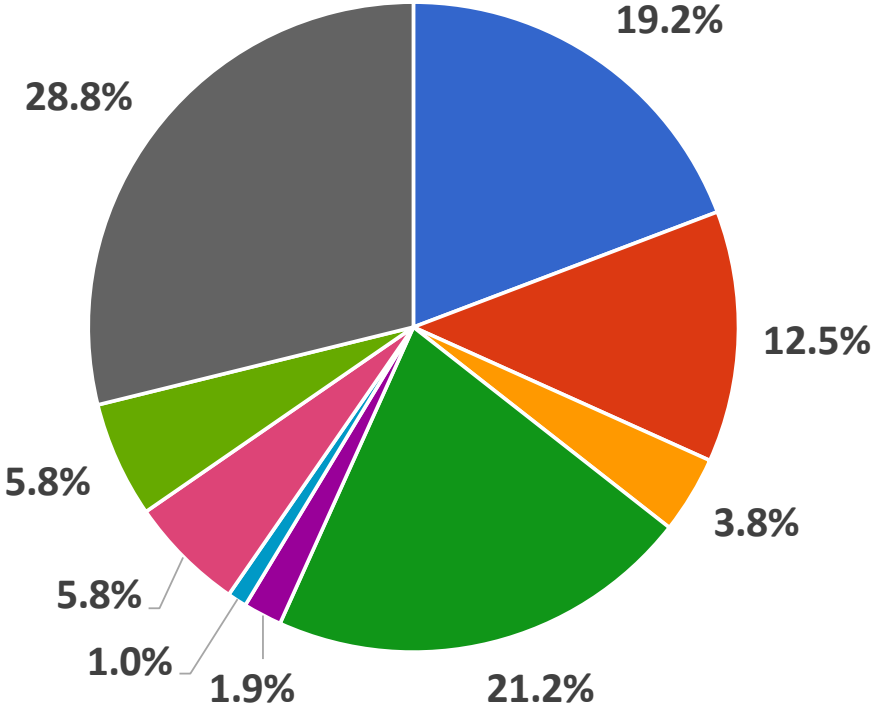
INDEX

- 01 商工会議所の満足度について
- 02 商工会議所に入会し利用して良かったこと
- 03 商工会議所に入会して不満に思うこと
- 04 経営課題に感じていること
- 05 商工会議所に望むこと
- 06 従業員について
- 07 資金繰りについて

調査概要

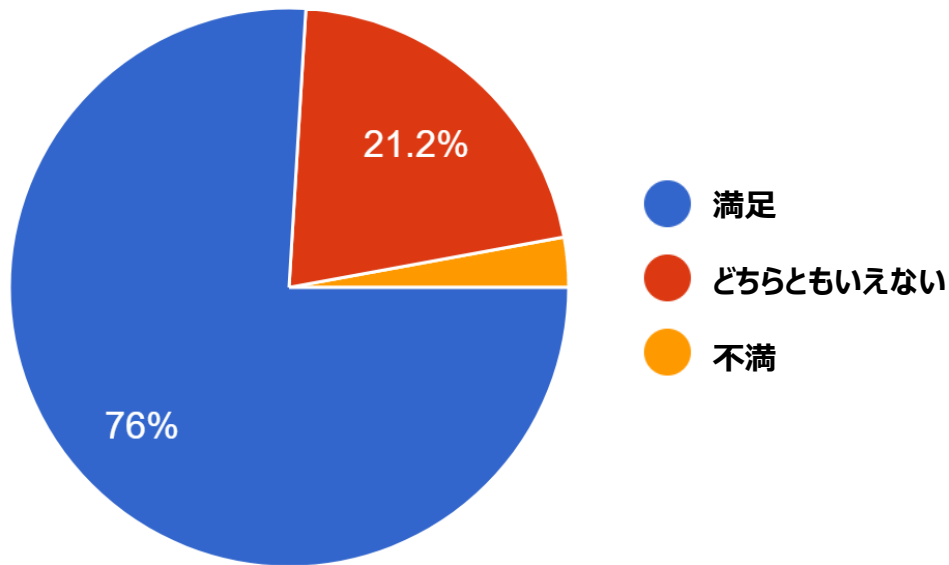
調査目的	会員企業の実態に即した的確な支援策の提供および質の高いサービスの実現を目指し、会員事業所が直面する経営課題や会議所への要望事項を明確にすることを目的としている。
調査期間	2024年5月8日～7月31日
調査対象	本庄商工会議所会員
調査方法	郵送・メールによる調査票送付、FAX・メール・WEBによる回答
回答数	104件（回答率6.8%）

業種	割合
製造業	19.2%
建設業	12.5%
卸売業	3.8%
小売業	21.2%
不動産業	1.9%
運輸業	1.0%
情報通信業	5.8%
飲食業	5.8%
その他	28.8%



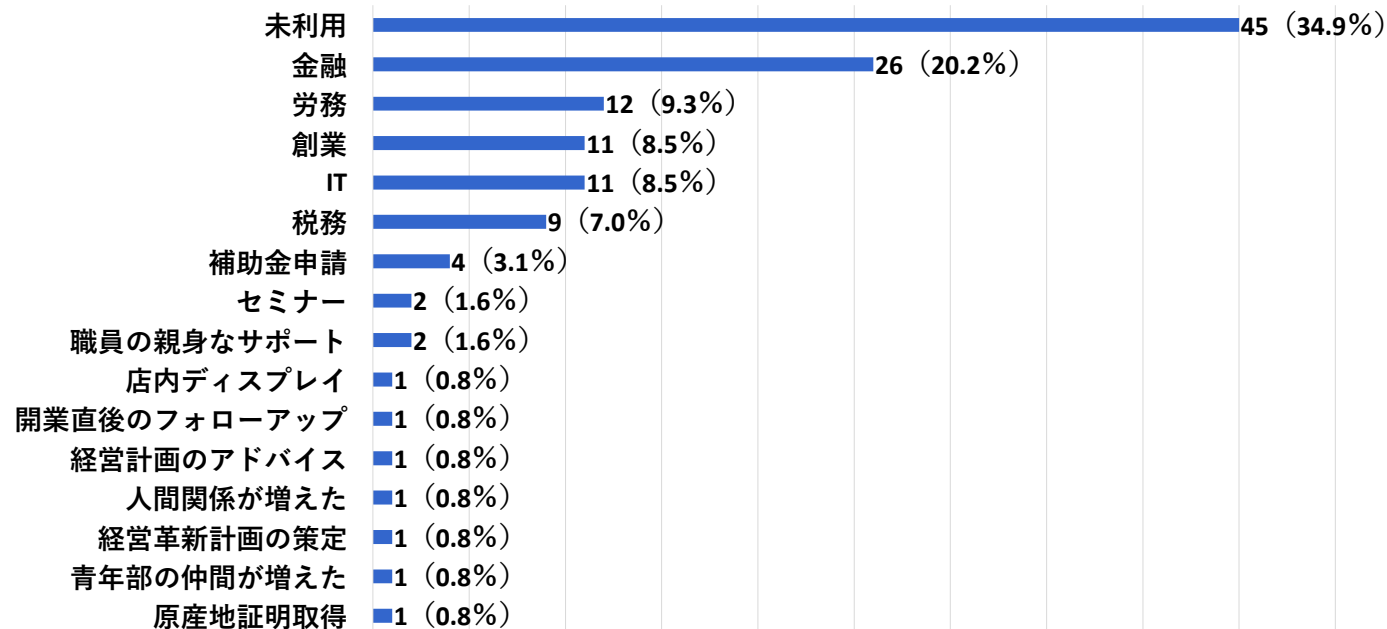
01. 商工会議所の満足度について

商工会議所に対する満足度は、満足と回答した割合が76%と高く、多くの企業が商工会議所のサービスに満足していることが読み取れる。

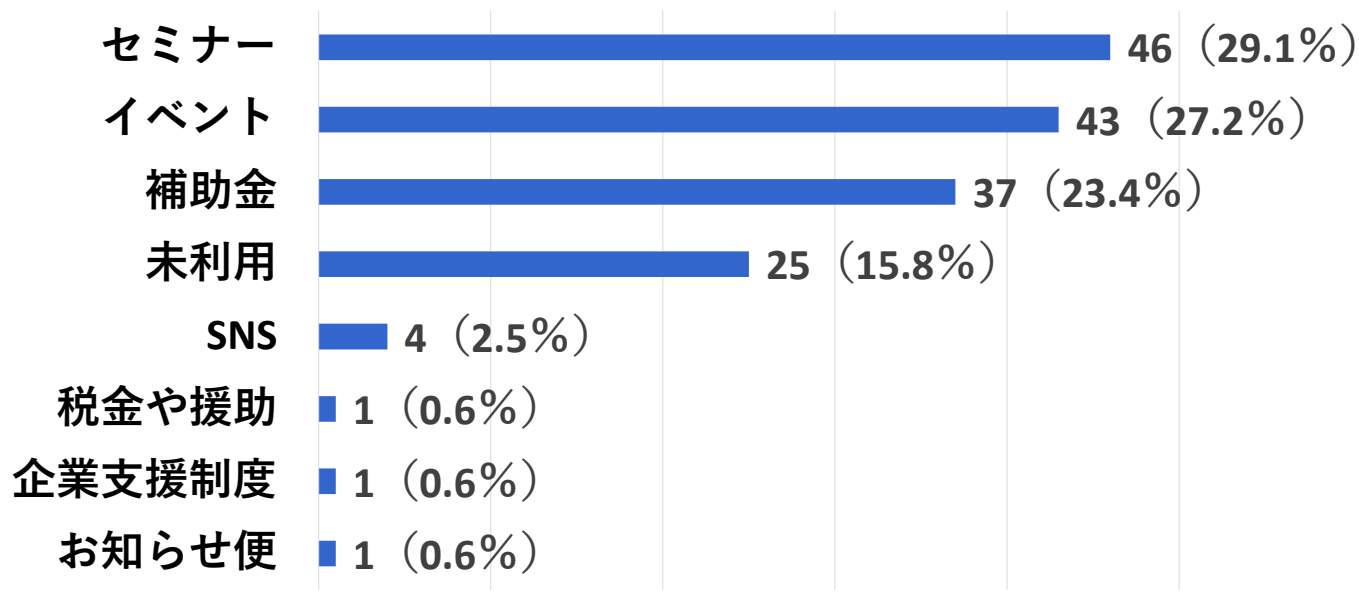


02. 商工会議所に入会し利用して良かったこと（経営支援）

金融支援が最も高く20%に達する。労務支援が9.3%、創業・IT支援が8.5%と続き、多くの企業がこれらの支援を評価している傾向が読み取れる。一方で、未だ34.9%の企業が支援サービスを利用していない結果がうかがえる。

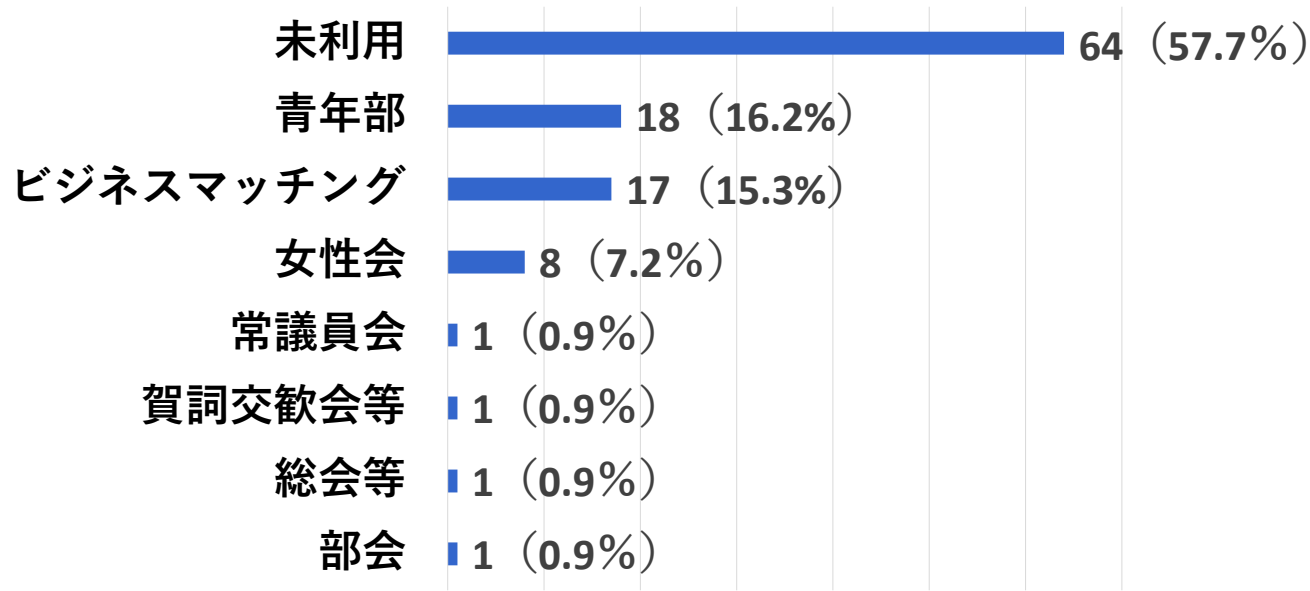


情報収集の面で良かったと感じる点では、セミナーが29.1%、イベントが27.2%と高く評価されている。一方、未利用の割合は15.8%にとどまる結果となった。



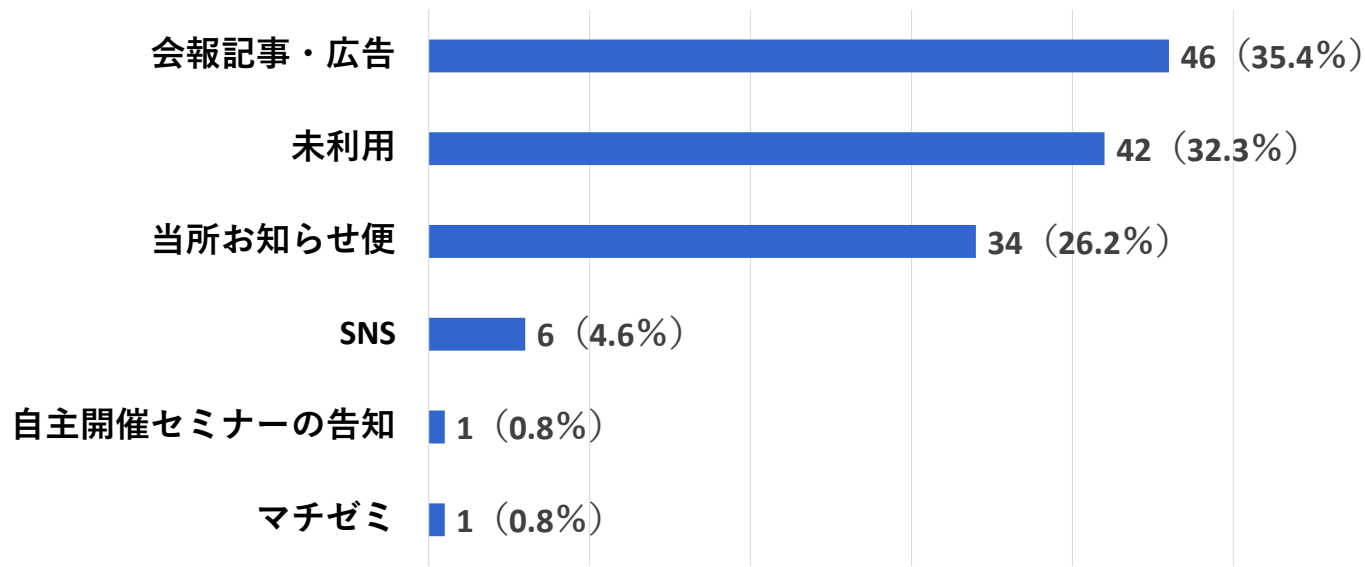
02. 商工会議所に入会し利用して良かったこと（人脈拡大）

人脈拡大に関して良かったと感じる点では、青年部が16.2%、ビジネスマッチングが15.3%と一定の評価を得ている。一方で、未利用の割合が57.7%と過半数を占める結果となった。



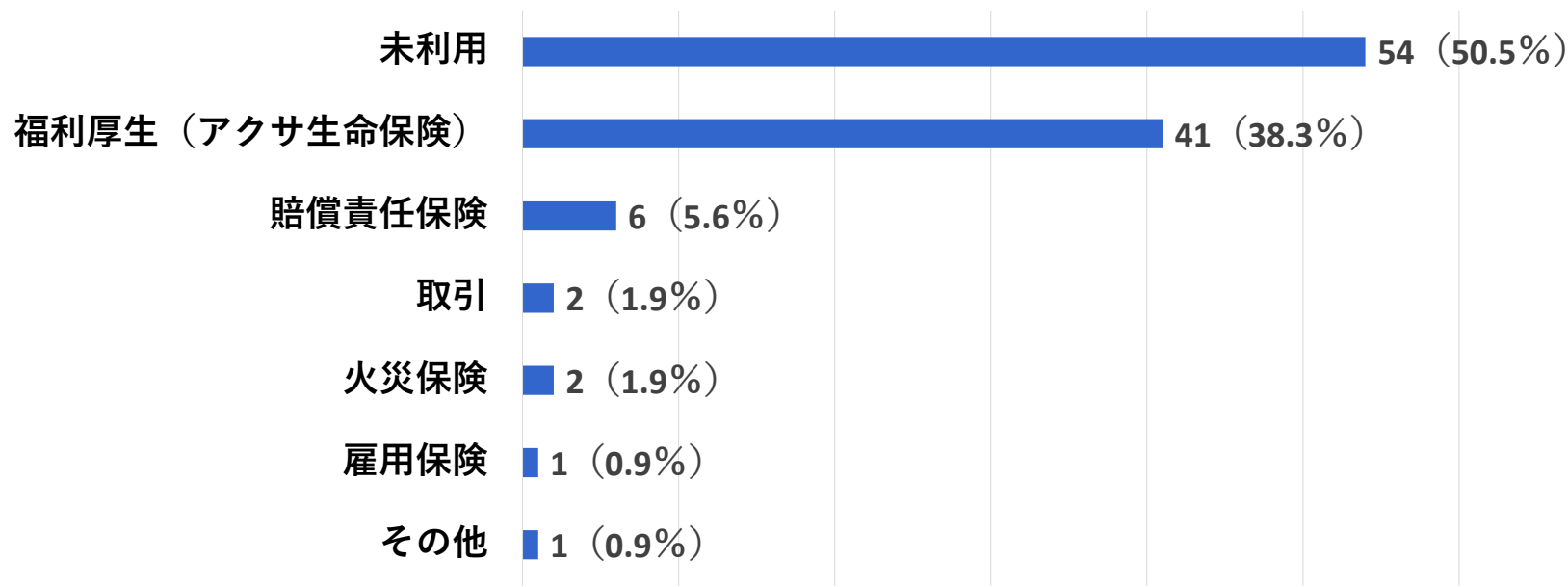
02. 商工会議所に入会し利用して良かったこと（広報・PR支援）

広報・PR支援で良かったと感じる点では、会報記事・広告が35.4%と最も高く、次にお知らせ便が26.2%となった。32.3%の企業はこれらのサービスを未利用という結果となった。



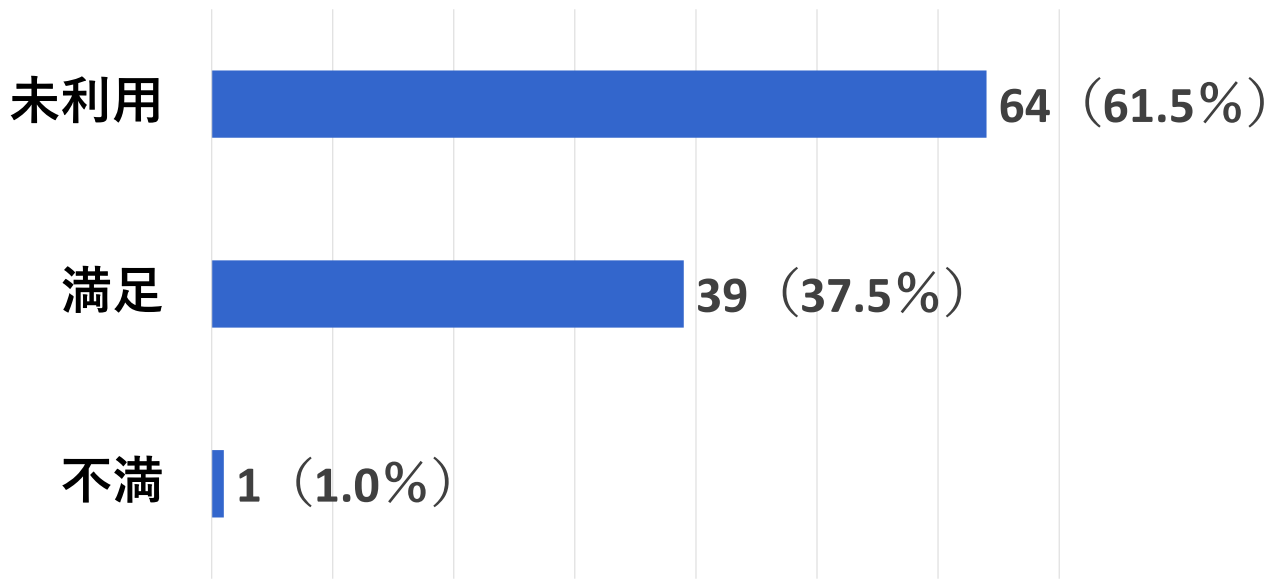
02. 商工会議所に入会し利用して良かったこと（各種保険）

各種保険制度で良かったと感じる点は、福利厚生（アクサ生命保険）が38.3%が最も大きい。一方で、未利用が50.5%にのぼり、依然として多くの企業がこれらの制度を活用していない傾向が見られる。



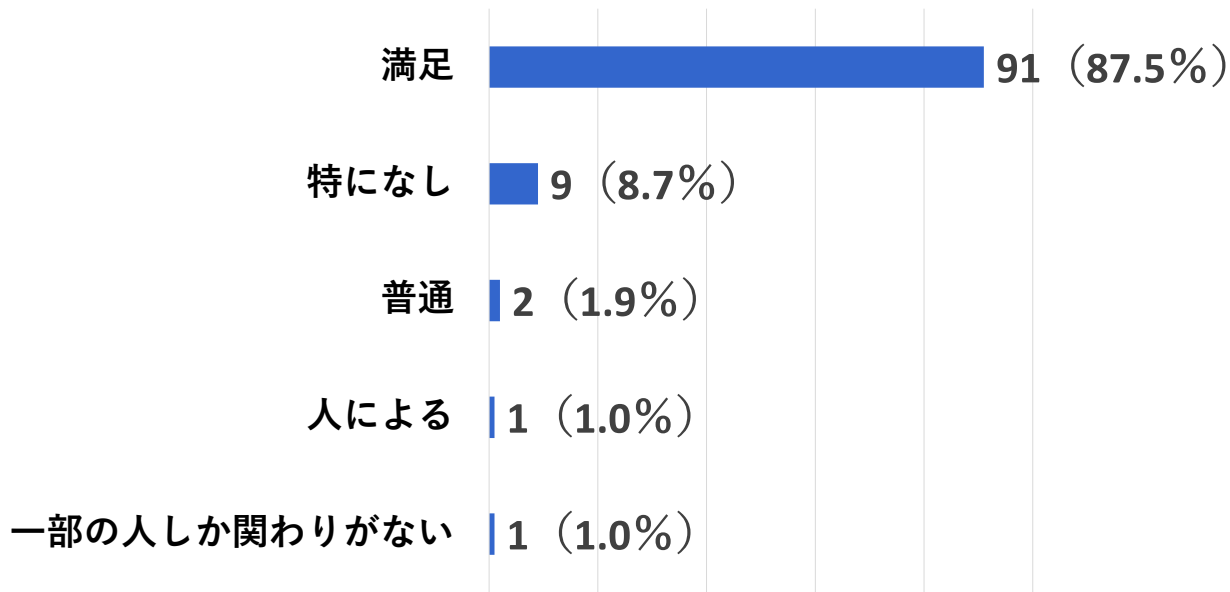
02. 商工会議所に入会し利用して良かったこと（会館貸会議室）

会館貸会議室の利用に関して良かったと感じた事業所は37.5%にとどまった。一方で、未利用の企業が61.5%と、依然として多くの企業がこのサービスを活用していない結果がうかがえる。



02. 商工会議所に入会し利用して良かったこと（職員対応）

職員対応に満足している企業の割合は87.5%と高い結果となったが、職員対応に関わりがないと感じているケースも見受けられる。多くの企業で職員対応が評価される一方で、サービスを実際に利用している事業所に限定されている傾向が読み取れる。



03. 商工会議所に入会して不満に思うこと



- 工業施策が見えない
- 人材難への対応・採用支援・人材教育の環境整備等地域企業のニーズ把握不足



- 地域や社会貢献にはなっていると思うが、会社にとってのメリットがない
- 商工会議所に入会しているが本庄市開催のイベントは本拠地が異なることで参加出来ない



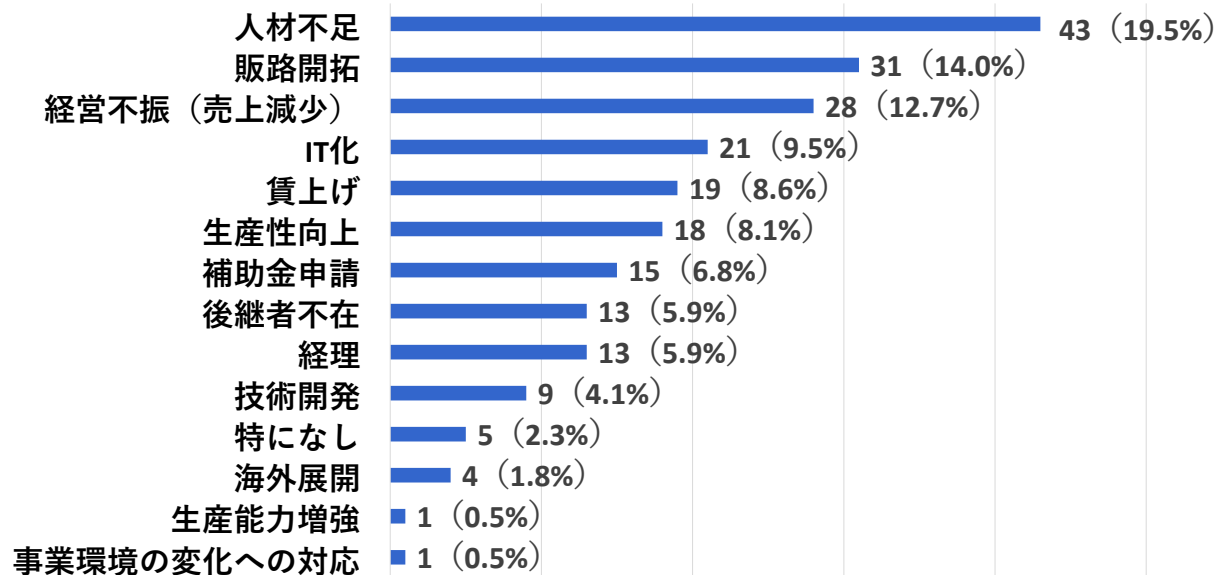
- ビジネスマッチングや補助金セミナー等もっと頻繁に開催して欲しい
- 自社がどの補助金に対応しているか分かりやすく説明してくれる会合等があると良い



- 貸会議室の利用料が高い
- 現場に合った情報提供を希望します（タイムリーに）

04. 経営課題に感じていること

経営課題に関する点では、人材不足が19.5%と最も多く、多くの企業で深刻な問題として認識されている傾向が読み取れる。次いで、販路開拓が14.0%、経営不振が12.7%、IT化が9.5%と、経営課題が多岐にわたり山積していることがうかがえる。



05. 商工会議所に望むこと



- 仕組み化DX化の補助、助言、情報発信
- 迅速な対応



- 業務知識向上のためのセミナー、講習会の拡充
- もっと企業が発展して本庄市が目置かれるような地域になって欲しい



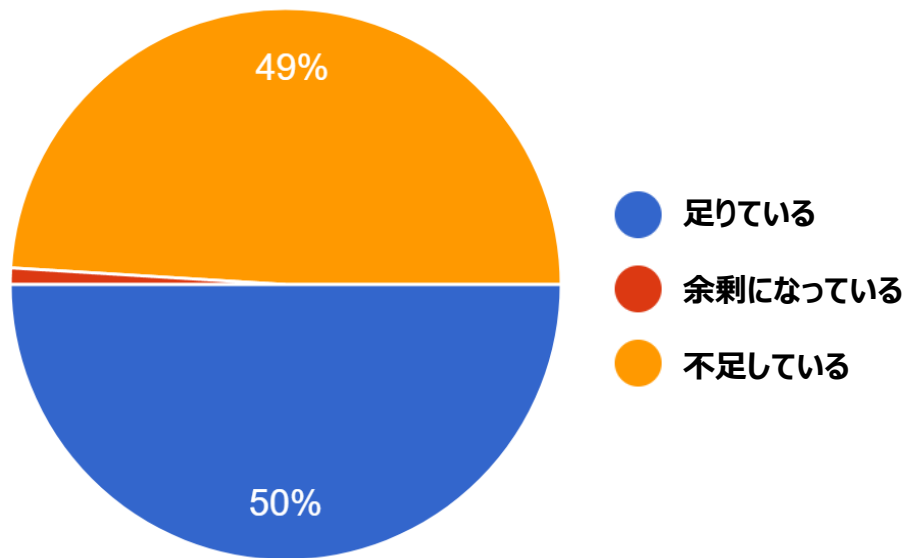
- 引き続き地域社会の代弁者として、自治体等関係機関に対して会員事業者の為になる提言をお願いします
- 対象全エリアへのきめ細かな情報発信



- ビジネス交流会&各種交流会
- 若手経営者の育成や女性向け創業支援

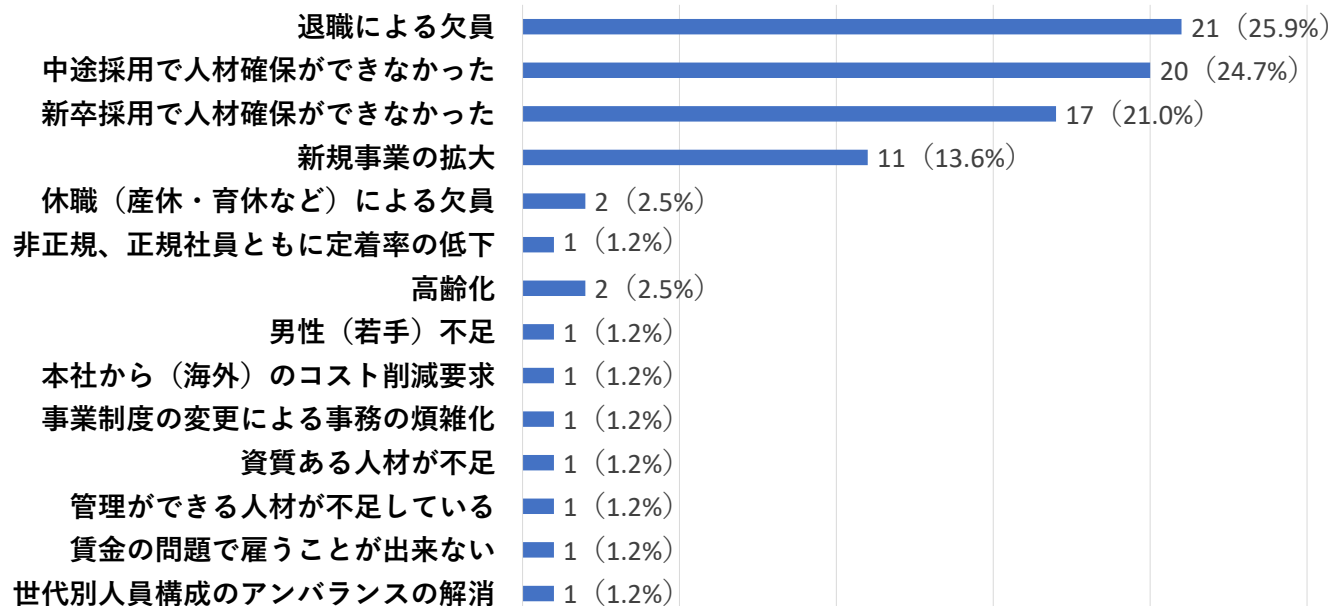
06. 従業員の状況

従業員が足りていると回答した事業所が50%にのぼり、不足していると回答した事業所が49%とほぼ同等の割合を示している。多くの企業で人員不足が課題となっている傾向が読み取れ、急激に人手不足感が高まっている状況がうかがえる。



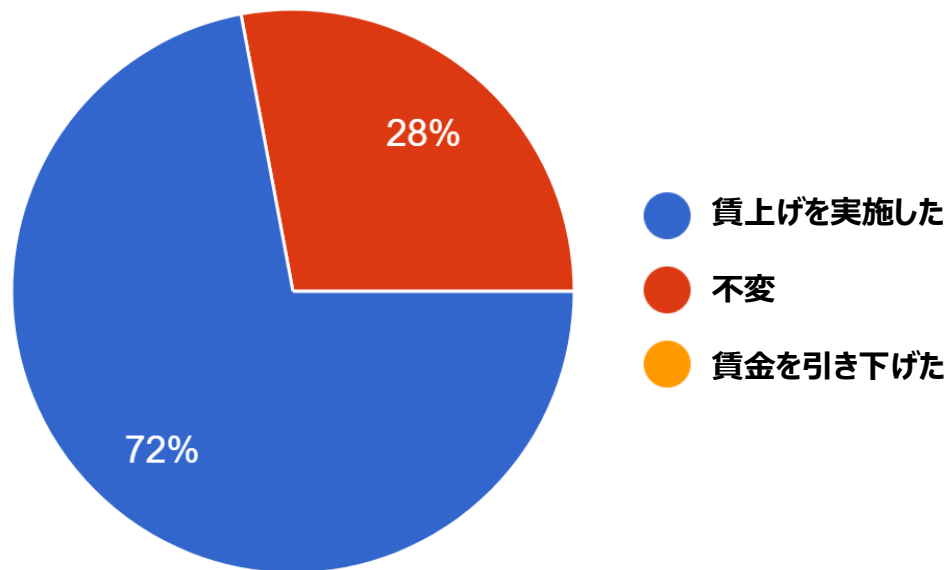
06. 従業員が不足している理由

退職による欠員が25.9%と最も多く、多くの企業でこの問題が深刻であることがうかがえる。中途採用で人材確保ができなかった事例が24.7%となった。また、新規事業の拡大が13.6%にのぼり、企業の成長に伴う人材確保の課題も浮き彫りとなっている。



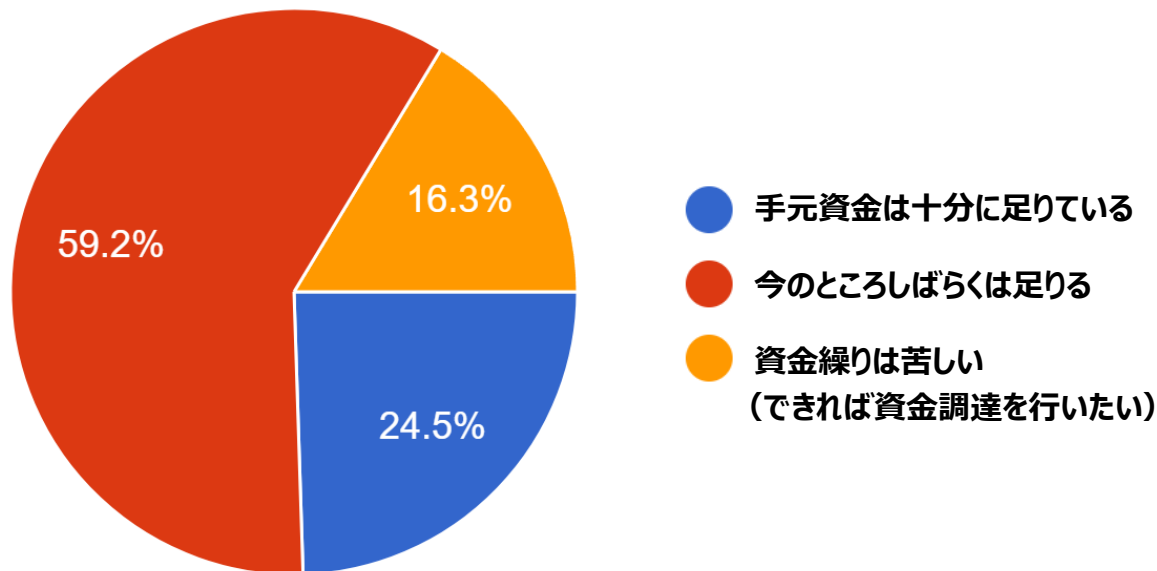
06. 近年の従業員の人件費

賃上げを実施した事業所が72%と最も多く、多くの企業で賃金改善への取り組みが進んでいる傾向が読み取れる。一方、不変と回答した事業所が28%で、企業の多くが人材確保のために賃上げを優先していることがうかがえる。



07. 資金繰りの現状

資金繰りに関するアンケートでは、「今のところしばらくは足りる」との回答が59.2%と最も多く、安定している企業が多い傾向が見られる。一方、「手元資金が十分に足りている」企業は24.5%にとどまり、「苦しい」と感じる企業も16.3%にのぼる結果となった。



07. 資金繰り・資金調達の相談先

金融機関を相談先とする企業が63%と最も多く、多くの企業で資金調達の際に金融機関を頼りにしている傾向が読み取れる。一方、商工会議所を相談先としている企業は16%にとどまり、相談先がない企業も16%にのぼる結果がうかがえる。

